２月号　営農インフォメーション

管理のポイント
水稲・・・品種固有の特性維持のために、全量種子更新を行ってください。
麦　・・・排水対策を確実に行ってください。２月下旬～３月上旬は穂肥の施用時期です。
野菜・・・春作に向けて、作付け計画の作成・寒起こしの適期です。

水稲

【種子更新】
種子更新は、品種特性の確保と品質向上の為の必須事項です。
自家採種を毎年繰り返していると、品種の特性が次第に薄れ収量も低下します。米卸し業者や流通段階ではＤＮＡ鑑定を随時行っており、品種特性の確保は米の販売において必須事項となっています。

麦

○【生育状況】
播種時期（１１月初旬）は天候に恵まれ気候も穏やかだったため生育は順調に進んでいましたが、１２月中旬～1月の積雪・低温の影響により生育は平年に比べ遅れています。
　また、積雪・低温の影響で茎数の確保が出来ていないほ場も見られます。
そのようなほ場は、穂肥までに茎数アップのための**追肥と排水対策**を行いましょう。
目安としては、チッソ成分で２kg/10a 程度

【今後の管理】
○ 排水対策の徹底
積雪の雪解け水がスムーズにほ場外に排出されるようにもう一度排水溝の確認を行いましょう。湿害は、根の伸びを阻害し、施した肥料の吸収を悪化させます。排水対策の不十分なほ場では、今後も分げつが増えず減収にもつながります。そのため、徹底した排水対策を実施するよう指導してください。

①積雪・降雨後に、ほ場を見回って水がたまりやすい個所を確認しましょう。
②溝に水がたまっている場合は溝さらえを行って、排水を促しましょう。
③定期的にほ場を巡回し、溝にある障害物などを除去するなどして、溝を補修しましょう。

○ 追肥（つなぎ肥）・の施用

穂肥は、有効茎数や一穂あたりの粒数を増やす効果があり増収のために必要な作業で、２月下旬～３月上旬にかけては穂肥の施用時期になります。しかし、本年産は積雪・低温の影響でほ場によっては茎数の少ないほ場が見受けられます。茎数の少ない場合は減収にもつながるため、雪解け後できるだけ早く追肥（つなぎ肥）を行い茎数確保に努めましょう‼

施用の目安はチッソ成分で２kg/１０ａです‼

※一発肥料で追肥を行う場合はチッソ成分で 1～2 kg/10a を目安に散布しましょう
【❶化成肥料 20-0-10 の場合　5～10 kg/10a　❷ｵｰﾙ 14 の場合　１０～１５kg/10a】

※後期重点施肥の場合は茎立期までにチッソ成分１～2 kg/10a を目安に散布しましょう
【❶化成肥料 20-0-10 の場合　5～10 kg/10a　❷ｵｰﾙ 14 の場合　１０～１５kg/10a】
※ただし、後期重点施肥で追肥を行った場合は穂肥の時に先に施用した追肥分を減量し施用してください（例：穂肥でN13kg/10a 施用と考え　今回追肥をN2 kg/10a 施用した場合は、穂肥施用量はN11 kg/10a としてください　化成肥料 20-0-10 の場合　55 kg/10a　）

標準的なほ場

追肥の必要なし
穂肥を通常とおり
２月下旬～３月上旬施用

茎数の少ないほ場

追肥の必要あり
雪解け後できるだけ早く施用
チッソ成分で２kg/10a
（ｵｰﾙ 14 の場合１０～15 kg/１０ａ

○穂肥の施用量

茎数の少ない圃場は追肥（つなぎ肥）を実施し、２月下旬～３月上旬にかけて栽培体系により施肥を行いましょう‼　施肥基準は下記のとおりです。

【全層施肥】　化成肥料 20-0-10　　20 kg/10a
【省力型分施】セラコート R2500　　30 kg/10a
※基肥に麦パンチ（一発肥料）を散布している場合は穂肥の施用は必要ありませんが、葉色の低下が著しい場合は、追肥を検討する必要もあります。

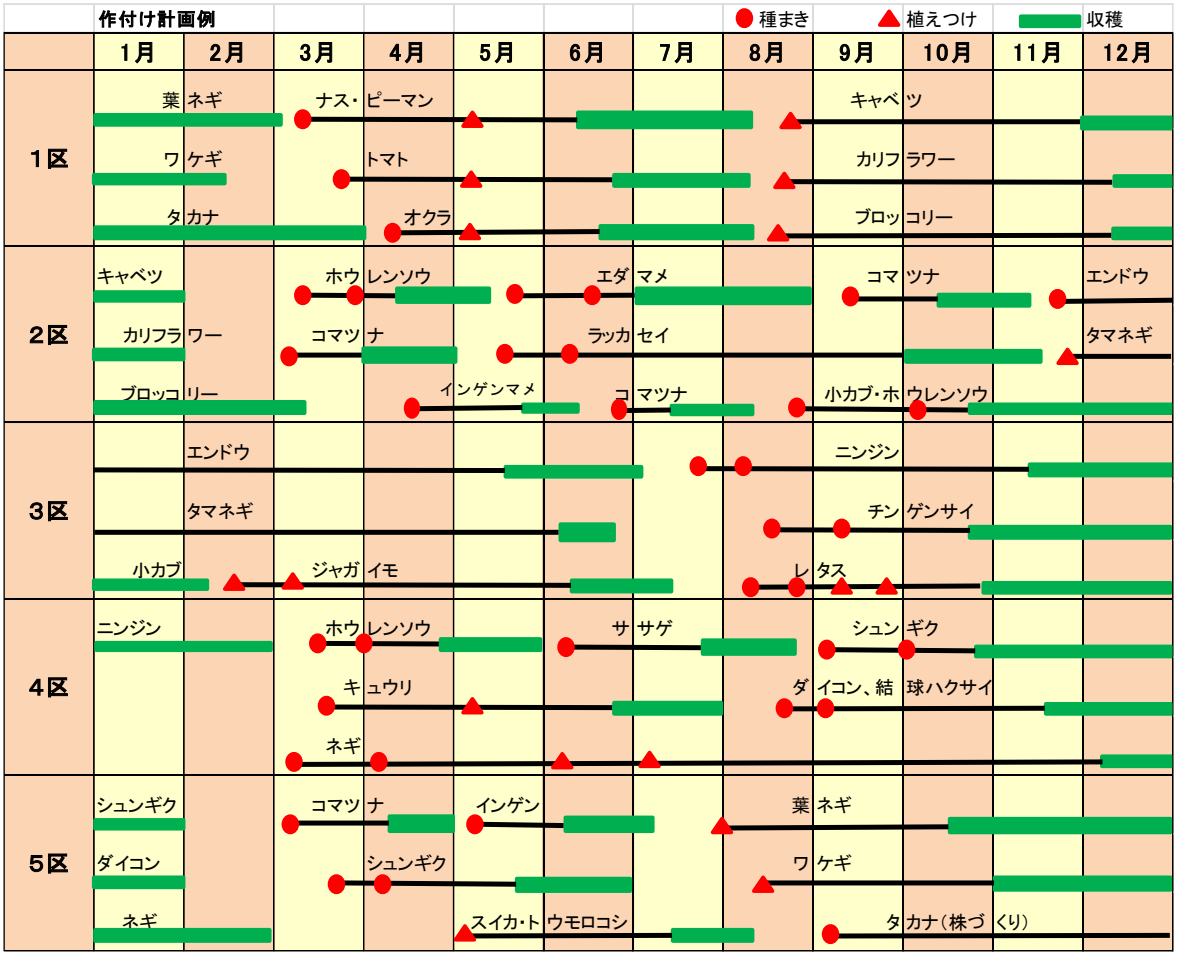
野菜【作付け計画を立てるうえでのポイント】

① 栽培時期にあった野菜・品種の植え付けを行う

野菜には播種、植付けに適した時期があるため、同じ野菜でも、品種によって栽培時期を確認しなくてはいけないものがあります。例えばホウレンソウには春播用と秋播用があるため、播種時期により品種を選ばなくてはいけません。

② 連作は避けてください

野菜は同じ場所で同じ種類・あるいは同じ科目の野菜を続けて栽培すると、生育が極端に悪くなったり、枯れたりします。これを連作障害といい、連作障害を回避するためには連作を避けることや、やむを得ない時は接ぎ木苗を植えるなどの対策が必要です。基本的には、畑をいくつかのエリアに分割し同じ場所で同じ野菜を栽培しないようにローテーションを組んで作付けします。

【連作障害の出やすい野菜と出にくい野菜】

連作障害の出やすい野菜	エンドウ、ナス、スイカ	7年以上休栽
	ゴボウ、トマト、ピーマン、サトウダイコン	5～6年休栽
	ダイズ、シロウリ、ナガイモ、サトイモ	3～4年休栽
	キュウリ、ジャガイモ、インゲン	2年休栽
連作障害の出にくい野菜	サツマイモ、カボチャ、ニンジン、タマネギ、コマツナ、シュンギク、ニンニク、ショウガ、フキなど